

④ ふるさと信州新卒就職促進事業

労働雇用課

目的

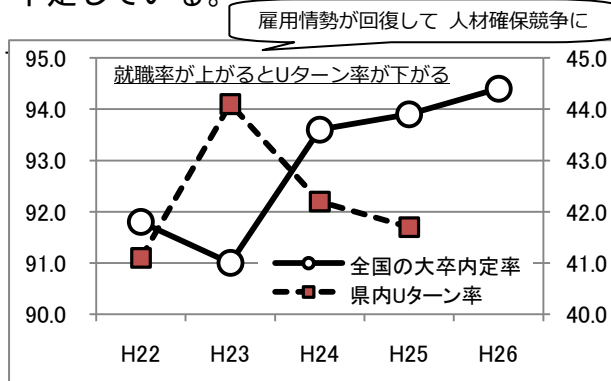
地域経済を担う優秀な人材の確保と地域活性化を図るため、県内外に進学している学生に対して、県内企業の魅力発信や、出会いの場の創出などで理解を深め、県内就職を促進する。

現状と課題

1 県内企業についての情報不足

地元企業の良さを伝える機会が乏しく、県内企業の魅力が県外に進学した学生に十分に伝わらず、知名度の高い企業に学生の志望が流れがちになる。

県内の学生が多く進学する都市部の大学と県内企業とのコミュニケーションが不足している。



2 働くことに対する理解不足

業種や企業のイメージを深く認識していないことが、雇用のミスマッチや、就職後の早期離職につながっている。

平成27年度卒業者から就職活動の開始が遅くなり、じっくりと企業研究することが可能に。
 広報活動：12/1開始 → 3/1開始
 採用選考：4/1開始 → 8/1開始

3 県外との往復には多額の経費

県の調査では「Uターン就職で困ったこと」として、8割の学生が「移動にお金がかかった」ことを回答。

取組の方向性

学生に対する情報発信力の拡充

県からの情報発信を強化して、より確実に情報を学生に届ける。

大学側へのアプローチの強化

大学就職課へのパイプを太くして、学生への働きかけを強める。

新たな方法で、4年生だけでなく1年～3年生も重点的に支援

学生のキャリア教育支援

採用活動の日程変更により企業研究の期間が長くなることから、適切な企業研究の機会を提供する。

学生の経費負担の軽減

就職活動にかかる経済的負担を軽減することで、Uターン就職に向けた動機付けをする。

都市部へ出向いての企業説明会

学生へのアンケート調査でも、県外での開催を求める声が多い。

事業展開

学生は、合同企業説明会や就職情報サイトなどで情報収集しているが、Uターン就職者の1/4強が「企業情報の少なさ」に不満を持っている。

民間アイデア活用

④ 就職情報発信の拡充

- ◆ 県教委と連携して進学予定者全員に情報提供サービスを周知。facebookからも発信。
- ◆ 県の求人サイト「信州人キャリアナビ」をパワーアップし、若者向け就職情報を一元化。
- ◆ 首都圏の大学訪問などにより、Uターン就職促進協定締結校を倍増させ、各大学の就職支援課と協力して、信州で働くことを学生にPR。

④ インターンシップ情報の充実

県内企業のインターンシップ情報を、直接企業訪問などで掘り起こし、大学訪問やメール・SNSなどを活用して県外学生へも積極的に周知。

④ 信州わかもの就職応援事業

研修と職場実習から正規雇用へと繋げる取組。
県外の参加者も募り、社会増を狙う。
 別途、子育て女性を対象にした取組も併せて実施し、対象者をH26の80人から計180人に倍増。

④ 子育て女性人材育成・再就職支援事業

④ 地域と若者マッチング事業

信州若者1000人会議を活用し、若者と企業が協働で県内の地域課題を考えるゼミナールやワークショップを通じ、若者の職業意識を高める。

Uターン経験者によるPRも実施

④ 県外での合同企業説明会

学生の利便性向上のため、県内に加えて、首都圏・関西圏・中京圏でも開催。就活開始前にも若手社員との交流会を開催して、県内企業の魅力を学生に発信。

④ 東京での個別説明会

銀座 NAGANO を県内企業の個別説明会や面接会場として活用し、人材を確保。

ふるさと信州学生Uターン就職促進に関する協定調印式



目指す姿

学生と保護者に対し、信州での就職をより強力に働きかけることで県内企業についての理解が深まり、

県内Uターン就職が増加して…

- ・ 県内企業の労働力確保
- ・ 社会増による地域活性化
- ・ ミスマッチの解消

を図る。

《H27目標》

Uターン就職率45% (H24: 41.7%)

